



来場者に説明する岡田副会長

延岡市危機管理課が企画し、防災関係の行政、業者、民間合わせて 21 団体・機関が出展。当会はそのうちのの一つとしてブースを設け、「氾濫の模型に氾濫を差し込んでみようコーナー」(写真左)、紙芝居(2 枚目)、活動紹介パネル展示、DVD 上映などを行いました。大型店の駐車場という会場の効果か、たいへん盛況でした。

出展者が問題を出し合う全 9 問の「防災クイズ」(景品あり)に、当会も「氾濫はどうやって洪水を防いдаでしょう?」を出題しました。そのため答えを知ろうと多くの人がブースを訪れ、熱心に説明を聞いてくれました。

ちなみに、クイズの答えは、会員の皆様ならお分かりですね? 「堤防の隙間に氾濫をはめ込んだ」です。

今回のフェスタは、来年 2 月に同じ会場で開かれる予定。当会も出展する予定です。ご協力、ご来場をお願いします。

延岡市防災フェスタに参加

2024 年 2 月 18 日、イオン延岡店駐車場



前事務局長の矢野光孝さん(写真右)が 2023 年秋の叙勲で瑞宝単光章(社会福祉功労)を受章されました。25 歳の時に防災で車いす生活になりましたが「車いすでも何か世の中に貢献できることはないか」と、仲間と共に考えたのが牛乳パックのリサイクルだったそうです(ひかり工房)。矢野さんが立ち上げた社会福祉法人光紀会は、3 施設を運営。自身は車いすバスケット、マラソンなど障がい者スポーツでも活躍。脱帽です。祝賀会には妻の八代子さんと一緒に参加されました。

(2023 年 12 月 16 日、延岡総合文化センター)。九電協会の延岡・西臼杵地区懇談会で、岡田副会長が氾濫を PR しました(2024 年 1 月 23 日、エンシテイホテル延岡)。当会企画・国交省発行の氾濫マップ「謎の氾濫」の改訂作業などを行いました。

その他の活動

延岡市消防団の普及啓発行事「消防フェスタ in 延岡」のオープニンググラクトで、上田副会長が消防団へ応援メッセージを述べました(2023 年 12 月 16 日、延岡総合文化センター)。

総会・交流会
2023 年 10 月 27 日夜、
北小路 源太ホール

開催時期が遅れましたが、国交省延岡河川国道事務所の下村慎一郎副所長をはじめ多くのご来賓、防災関係の皆様が集まっていたいただき、新体制をお披露目しました。

新事務局長の発声に続く「万歳」で締めくくりました。

矢野光孝さん祝賀会
2023 年 12 月 6 日、
桜園町デリカフェ・ライブ

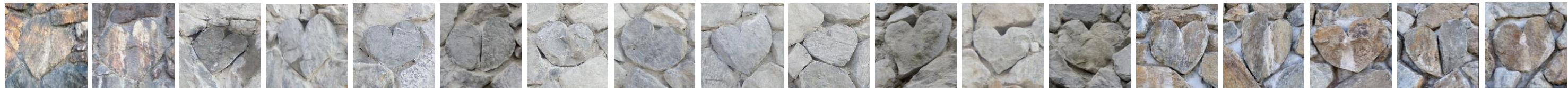


右岸の氾濫は、護岸補修工事の際に雑草の生えにくい工夫がされたのですが、左岸は昔のままなので、引き続き除草が必要です。そこで毎年、延岡市ボランティア協会主催「県下一斉ボランティア」の活動場所の一つに取り上げてもらい、一般ボランティアの力を借りて作業しています。この日は会員 5 人のほか、大学生 10 人ほどが来てくれました。若者に氾濫を知ってもらう機会にもなっています。今年は 8 月 25 日(日) 午前 7 時、東本小路のまちづくりセンター集合です。

「県下一斉ボランティア」に参加
2023 年 8 月 27 日



第 24 号 2024 年 7 月 25 日発行
五ヶ瀬川の氾濫を守る会



新設された 11 個



五ヶ瀬川 畳堤に配慮した護岸補修工事

右岸の最終区間が完成

延岡市街地を流れる五ヶ瀬川の右岸で行われていた、畳堤に配慮した護岸補修工事が、2023年度末に完成しました。国交省が2014年から4期に分けて行ったもので、最終区間は北町の「本家さき」から板田橋までの125㍎。完成直前の3月23日には、当会の会員を対象に見学会が開かれました。

工事は、老朽化した堤防の補強が最大の目的。併せて水防活動用車両が通れるように、狭かった天端が3㍎に拡張されました。畳堤はいったん取り外され、川側の端に再設置されました。

残念ながら、板田橋のもと（27㍎）

は立入禁止（※注）となり、通り

抜けができませんので「つながっ

た」とは言えませんが、河川敷に

下りたり上がつたりしながら、畳堤沿いの散策を楽しむことができます。Ⅱ中央

の図は、各区間の完成年と畳堤の数Ⅱ

ハート形の石11個新設

城山の「千人殺し」をイメージしてデザインされた石垣風の護岸（高さ6㍎）には、2、3期工事と同じくハート形の石が、最終区間は11個埋め込まれました。全部で18個になりました（写真上、右側が上流）。

見学会では、施工した湯川建設（延岡市）の椎葉伸二本部長から説明を受けました。石材は、日向市平岩産の柱状節理。石積みは、県北でも数少ない石工職人の津江礼二さん（延岡市）に依頼し、既設護岸の前面に金網を張って、石をアンカーで固定したそうです（アンカーピオストーン工法）。

左岸も堤防が傷んでいるように見受けられますので、安全のためにも、右岸同様の工事が行われることが望まれます。

※この27㍎間は、補修でなく、抜本的な河川改修が必要だそうです。

天端のコンクリート舗装の表面の洗い出し方法について説明する椎葉本部長（右）



左岸畳堤の雑木伐採

湯川建設は2024年3月7日、左岸の板田橋上流部から五ヶ瀬橋下流部まで、畳堤周辺の雑草木を伐採・撤去しました。天端が狭いため作業が難しい場所ですが、プロの技ですっきりとなりました。

施工の湯川建設が地域貢献

畳4枚を寄贈

当会は2024年3月23日、湯川建設（湯川鶴三社長）より新しい畳4枚の寄贈を受けました。畳は特注品です。なぜなら延岡では昔、内藤のお殿様の影響で、今より小さな五八間（江戸間）の畳が使われていたため、畳堤もそのサイズで造られているからです。現代の大きな畳は入りません。贈呈式は最終区間見学会の後にあり、湯川守人副社長のあいさつの後、同社と当会から4人ずつ8人で、畳堤にはめ入れました。



完成した最終区間。板田橋側から撮影。奥が亀井橋（湯川建設提供）



コンクリートの割れ目から生える雑木は、堤防を傷める原因になります。エンシティホテル延岡下流のこの場所では、作業前は盛大に生えていました（写真右）。左は作業後の様子

